

安井小学校 学校だより

第1回 学校評価特別号

令和元年10月
京都市立安井小学校
校長 當麻 章英
TEL 075-841-3130 fax 075-811-3333
HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

☆令和元年度 第1回 学校評価のまとめ☆

7月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

<学校生活について>

安井小学校では、「輝く 安井の子の育成」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育がめざす子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気な子」の育成を目指しています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」の項目で、低学年で約96%、高学年で約97%の児童が「できている。」と答えています。また、保護者アンケートでも約99%が「子どもは友だちや周りの人に仲良く優しく接している。」と回答しています。友だちとの関係がよく、学校に来るのが楽しいと思っている子どもたちが多いことが分かります。「やさしく思いやりのある子」が実現され、「輝く 安井の子の育成」に近づいていると感じます。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年) ともだちになかよく、やさしくせつしている。	69.5%	26.7%	3.8%	0.0%
(高学年) 友だちに仲良く、優しく接している。	62.3%	34.8%	2.0%	1.0%
(保護者) 子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	31.1%	65.8%	2.7%	0.4%

<学習について>

「授業の内容はよくわかる」という問いに対して低学年の約91%、高学年の約94%がわかると答えています。また、保護者の約95%が「学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。」と答えています。これに対して「授業中は自分から進んで学習したり、発表したりしている。」では、低学年の約12%、高学年

の約25%が主体的に学習に取り組めていないと分りました。授業は分かるのだが、自分の考えや意見を積極的に述べるのが難しい子どももいます。「すすんで学習を進める子」を実現するために、学習の定着を図る取組を行い、主体的に学習できる授業の工夫を考えていきます。さらには、保護者の皆様と連携をとりながら家庭学習の習慣化、また、学力向上を図っていきたいと考えています。

	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
(低学年)じゅぎょうのないようは、よくわかる。	61.9%	29.5%	5.7%	2.9%
(高学年)授業の内容はよくわかる。	54.7%	39.9%	4.9%	0.5%
(保護者)学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	31.9%	63.7%	4.0%	0.4%



<みそあじについて>

本校で長年取り組んでいる「みそあじ運動」の結果です。

「みじたく、学校の準備ができる。」については低学年の約91%、高学年の約90%ができると答えています。保護者の回答では、約89%でした。概ねできているといえますが、忘れ物が目立つ児童も少なくないです。体育の用意やフッ化物洗口用のコップなどを職員室に借りに来る児童もいます。児童が予定表を見て自分で時間割を合わせて、もう1度確認するなど、ご家庭での声かけをお願いします。

「そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。」については、低学年で約92%、高学年の約82%ができていると答えています。本校の子どもたちががんばっていることの一つとして、そうじがあげられます。みんなで協力しながら取り組むのはもちろんのこと、時間内にすみずみまできれいにそうじすることをどのクラスもがんばっています。また、美化委員会からの取組で、もくもくそうじ週間を実施する予定であり、み

んながもくもくとそうじをしてきれいに早く終わらせるようにがんばっていきます。
そうじを一生懸命がんばっている姿はとても素敵です。



「あいさつを進んでできる。」については、低学年で約 97%，高学年で約 89%の児童ができています。各学級での様子や職員室に来る児童の様子を見ると、しっかりとあいさつができています。校内で先生や友だちへのあいさつは比較的できています。放課後まなび教室の先生からは「まなびに来る子どもはしっかりとあいさつができています。」という言葉いただき、進んで気持ちよくあいさつできている子どもが増えていると感じています。これからは校内だけではなく地域の人等に進んで元気よくあいさつできるように、さらにステップアップをしてほしいです。

「時間やルールを守って行動できる。」については、低学年で約 93%，高学年で約 88%の児童ができています。子どもたちは、チャイムを意識して行動しています。昼休みの終わりのチャイムがなるとすぐにそうじに取り掛かっている子どもが多くいます。次の活動をよりいい活動にするためにも、時間をしっかりと守っていくことが大切です。それを実現できている子どもたちはとてもすばらしいです。

今後は「あまりできていない」という子どもたちができるように、今後も「みそあじ運動」の取組を推進していきたいと思っています。

(低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、がっこうのじゅんぴができる。	67.6%	24.1%	8.3%	0.0%
そうじ、みのまわりのせいり・せいとんができる。	61.8%	30.9%	6.4%	0.9%
あいさつをすすんでできる。	71.6%	25.7%	2.8%	0.0%
じかんやルールをまもって、こうどうできる。	68.8%	24.8%	6.4%	0.0%

(高学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	52.0%	38.1%	7.9%	2.0%
そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。	43.1%	39.6%	13.4%	4.0%
あいさつを進んでできる。	57.9%	31.2%	8.9%	2.0%
時間やルールを守って行動できる。	44.2%	44.7%	8.5%	2.5%

(保護者)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
みじたく、学校の準備ができる。	37.7%	51.8%	10.2%	0.4%
そうじ、身の回りの整理・整頓ができる。	10.0%	43.4%	40.2%	6.4%
あいさつを進んでできる。	19.3%	57.5%	19.3%	3.9%
時間やルールを守って行動できる。	22.5%	53.2%	22.2%	2.1%

＜早寝・早起き・朝ごはんについて＞

「早寝・早起き・朝ごはんができています。」と答えたのは低学年で約 80%，高学年で約 87%です。保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 88%，「子どもは朝ごはんを毎日食べている。」は約 99%になっています。

早く寝たら、早く起きられ、朝ご飯を食べることができて元気に活動することができます。この基本的な生活のリズムを確立することで、よりよい体の成長とともに、心の成長や学力の向上に優位に働くとされています。そのために日ごろから「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を目指し、規則正しい生活リズムの確立をお願いしたいです。

令和元年度第 1 回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見をしっかりと受け止め、今年度の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。



	重要度				実現度			
	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
子どもは、学校や家で自ら学習に取り組んでいる。	77.8%	21.5%	0.7%	0.0%	23.6%	56.0%	18.0%	2.5%
子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	89.1%	10.5%	0.4%	0.0%	31.1%	65.8%	2.7%	0.4%
子どもは、元気に安全に学校生活を送っている。	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	48.2%	48.7%	2.7%	0.4%
みじたく、学校の準備ができる。	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	37.7%	51.8%	10.2%	0.4%
そうじ、身の回りの整理・整とんができる。	76.7%	22.6%	0.7%	0.0%	10.0%	43.4%	40.2%	6.4%
あいさつを進んでできる。	90.2%	9.4%	0.4%	0.0%	19.3%	57.5%	19.3%	3.9%
時間やルールを守って行動できる。	90.2%	9.5%	0.4%	0.0%	22.5%	53.2%	22.2%	2.1%
学校は、学習内容がよくわかり、基礎・基本の学力がつくように支援している。	89.9%	10.1%	0.0%	0.0%	31.9%	63.7%	4.0%	0.4%
教職員は、子どもが自信をもつように、ほめてくれている。	83.3%	16.3%	0.4%	0.0%	35.6%	58.7%	3.6%	2.2%
子どもは、教職員に安心して話したり、相談したりできる。	89.4%	10.1%	0.5%	0.0%	29.0%	53.8%	13.6%	3.6%
教職員は、子どものことで、指導や連絡を、早く丁寧にくれる。	84.7%	14.4%	0.9%	0.0%	49.8%	45.3%	4.0%	0.9%
学年だよりや学校だより、学校ホームページなどで学級や学校の様子がわかる。	62.8%	32.7%	4.0%	0.4%	40.6%	48.7%	9.4%	1.3%
学校はけが・病気の予防や交通事故など、健康安全面に配慮している。	86.4%	12.7%	0.9%	0.0%	45.8%	48.4%	4.0%	1.8%
学校は、行事を通して子どもの良さをひきだし、成長できる取組を行っている。	78.4%	20.3%	1.3%	0.0%	40.4%	54.3%	4.5%	0.9%
学校は、学校いじめの防止等基本方針の内容に基づき、組織的対応に努めている。	89.3%	9.4%	1.3%	0.0%	28.2%	62.5%	8.3%	0.9%
学校は、子ども・保護者の訴えや相談内容を受け止め、ていねいに対応している。	85.1%	14.5%	0.4%	0.0%	35.0%	54.0%	8.4%	2.6%
家でも読書をしている。	63.3%	34.5%	2.2%	0.0%	18.7%	21.8%	45.3%	14.2%
早寝(低学年9時・高学年10時)早起き(7時)をさせている。	71.5%	27.2%	0.4%	0.9%	31.1%	35.1%	25.8%	8.0%
子どもは朝ごはんを毎日食べている。	91.9%	7.7%	0.4%	0.0%	73.2%	22.5%	4.3%	0.0%
家の仕事(家事)の中に、子どもの役割がある。または、家事を手伝わせている。	68.4%	29.8%	1.4%	0.4%	24.0%	39.6%	33.6%	2.8%
友だちや学校の様子について、よく話す。	81.3%	18.7%	0.0%	0.0%	29.5%	50.7%	18.0%	1.8%
テレビ視聴時間やゲームの仕方など、家庭で約束を決めている。	77.4%	20.6%	1.7%	0.3%	23.9%	41.2%	31.3%	3.5%
学校・PTA・地域の行事に親子で積極的に参加している。	46.0%	45.5%	7.1%	1.3%	26.0%	51.1%	18.8%	4.0%

4月18日に行われた、6年生における「全国学力・学習状況調査」の結果から、学習の様子をお伝えします。この調査は、国語科と算数科の2教科のテストとともに家庭での時間の過ごし方や学習時間を問う調査も実施されました。結果を受けて、生活習慣と学力との関係も踏まえながらお伝えしたいと思います。

国語科より

国語科は、話すこと・聞くことの領域に関する問題がよくできていました。「インタビューの様子」に関する問題で、話し手の意図を捉えながら聞いたり、話し手に対して自分の考えをまとめたりすることができていました。しかし、言語についての知識・理解・技能では、文に合う漢字を書くことに課題が見られました。文意をよく理解し、書き誤りやすい漢字を選ぶ問題等、チャレンジタイムで取り組み、定着を図ることができればと考えています。

また、書くことの領域「報告する文章」についての問題で、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くところが、全国的にも正答率が低かったです。書く力を伸ばすために、普段の授業の中で、書く場面を意図的に作っていきたいと考えます。

算数科より

算数科は、ほとんどの問題において、ほぼ平均値を示していました。基本的な計算やグラフを読み取る力がついていると考えます。ただ、領域別にみると、図形に関する問題において、落ち込みが見られました。今回は台形についての問題が出題されました。基本的な図形の構成要素に対しての理解を図る必要があると考えます。

また、除法の計算の仕方をまとめたり、グラフの資料が何を示しているのかを考え、読み取ったわけを書いたりするような記述式の問題に課題がありました。立式するだけでなく、なぜその式になったのか理由を考えたり、図式化して言葉で表現したりすることを低学年から積み重ねていくことが必要だと考えます。

児童質問紙調査から

学校の宿題に関しては、概ねしているのですが、「家で、自分で計画を立てて勉強している」という項目では、全国・全市を下回っています。自分で学習を進める力は、中学になってからとても必要になってきます。小学生のうちから自分で計画を立てて時間を有効に使うことができるようにしていきたいです。

「外国の人と友だちになったり、外国のことをもっと知ったりしてみたい」という項目では、全国・全市を上回り、外国の人や国に対する興味関心が高いことが見受けられます。外国語活動の時間に楽しく英語について学習し、外国の人と話したい、外国を見てみたいという意欲が出てきているのだと考えます。これからの社会生活で英語は日本にとって、欠かせない言語になってきています。中学になってからも引き続き学習し、英語力をつけていってほしいと思います。

その後の成果と課題

委員会などで、6年生は自分たちで計画し進める経験をしています。また、月ごとの児童朝会や運動会などの行事では、学校をリードし、他学年の手本となっています。

学習も活動も、指示されたことを取り組んでいくのではなく、「こうしたい」「こうしよう」という思いをもち、主体的に活動していく力を伸ばしていきたいと考えます。